Press Release

2026 年 11 月 12 日

報道関係者各位

かっこ株式会社
代表取締役社長　岩井 裕之

Cacco グループの Anycloud、既存 SFA からの移行に対応し、自社の業務に合わせて構築・保有できる「Anycloud オウンド SFA」の提供を開始

― 業務に合わせて作り込めて、保守まで任せられる、AI とつながる営業基盤
今お使いの SFA より費用を抑える前提でご提案 ―



AI と独自のアルゴリズムでオンライン取引の安全を支えるかっこ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岩井 裕之、証券コード：4166、以下 Cacco）の完全子会社である株式会社 Anycloud（本社：東京都港区、代表取締役：村井 謙太、以下 Anycloud）は、オープンソースの CRM を土台に、お客様の業務に合わせて作り込み、自社の資産として持つことができる SFA（営業支援システム）「Anycloud オウンド SFA」（以下「本サービス」）の提供を、本日 2026 年 11 月 12 日より開始いたしますので、お知らせいたします。

サービスページ URL：https://anycloud.co.jp/owned-sfa/

本サービスは、2026 年 6 月の Anycloud のグループインに際して掲げたシナジー「新規プロダクト・サービスの構築」の一環として、2026 年 10 月に PoC 提供を開始した「AI セキュリティ診断サービス」に続いて提供を開始するものです。国内導入実績 No.1※1 の不正検知サービス「O-PLUX」を通じて多くの事業者を支えてきた Cacco の顧客基盤と、Anycloud の AI 実装力・エンジニア組織を組み合わせ、企業の営業基盤づくりを支援してまいります。

■本サービス提供の背景

SFA は営業活動の記録・管理の基盤として広く普及した一方、既製の SaaS 型 SFA では、製品の仕様の範囲内で業務を合わせる必要があります。独自の承認フローや商流など自社に固有の業務を SFA に載せきれず、結局は Excel や手作業で二重に管理する運用が残るケースは少なくありません。

また、多くの SaaS 型 SFA はユーザー単位の課金であるため、利用者を増やすたびに費用の検討が必要となり、営業以外の部署への展開が進みにくい面もあります。さらに、長く使い、カスタマイズや外部連携が積み重なるほど、別の仕組みへの移行は難しくなります。一方、ゼロからの自社開発は自由度が高いものの、開発と保守の負担をすべて自社で抱えることになります。

さらに、SFA には顧客や商談の情報が集まるため、攻撃者にとっても価値の高い標的であり、連携する外部サービスを経由し

た不正アクセスへの備えも求められています。どこにデータを置き、どの外部サービスと、どの権限でつなぐのかを自社で把握・統制できることが、SFA を選ぶうえでも重要になっています。



図 1　SFA の運用で残りやすい 4 つの課題

本サービスは、既製品でも、ゼロからの開発でもない「第三の選択肢」として、業務に合わせて作り込める自由度と、保守まで任せられる安心を両立し、こうした課題の解決を目指すものです。

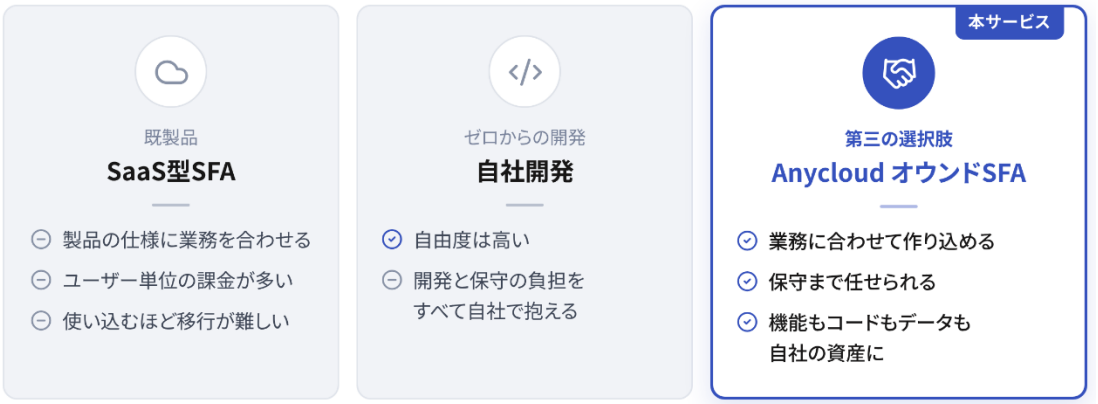


図 2　既製品でも、ゼロからの開発でもない「第三の選択肢」

■本サービスの概要

本サービスは、日本企業の営業に必要な機能を加えて Anycloud が開発・保守する SFA です。商談・顧客の記録、ダッシュボード、自動化、AI との連携を標準で備えた土台から始め、設定で足りない所だけを開発することで、既製品の始めやすさと自社開発の自由度を両立します。本サービスは、以下の 3 つを特長としています。

1. **業務に合わせて作り込める：**項目・画面・自動化は、画面の設定だけで追加・変更できます。標準で対応できない業務は、Anycloud が追加の機能として開発します。営業の記録にとどまらず、社内の承認フローや、承認中・承認済みのレコードを編集できなくするレコードロックなども、こうした追加の機能として装備できます。特定の製品だけの独自言語を使わないため、将来ほかの会社に保守を依頼することもできます。
2. **自社の資産として持てる：**作った機能もコードもデータも、お客様のものとして残ります。料金は、利用人数や企業規模、保守の範囲などに応じて個別に設計し、営業以外の部署への展開も見据え、今お使いの SFA より費用を抑える前提でご提案します。動かす場所は、お客様のクラウド環境か、Anycloud が運用する環境から選べます。
3. **保守まで任せられる：**セキュリティの更新、不具合の修正、土台の新しい版への追従まで、構築したチームがそのまま担い、窓口を一つにまとめます。AI エージェントを活用して効率よく保守するため、オープンソースの弱点とされる保守の手間をお客様が抱える必要はありません。保守をお客様自身で担うことも可能です。



図 3　本サービスの 3 つの特長

また、現在お使いの SFA からの移行にも対応します。既存の環境を解析し、取引先・商談・リード・活動や独自の項目・オブジェクトはそのまま移行し、クロス集計レポート、数式項目、入力規則、ワークフローや独自のコードによる自動化などは、同じ動きで再現します。氏名の姓・名の順や円の金額、年月日の表示など、日本の商習慣に合わせた表示にも対応しています。

移行は、現状分析と仕分け、試験導入、構築、データ移行のリハーサル、旧環境との並行運用、本番切替の 6 つのステップで進めます。件数や金額が移行元と一致するかを自動で照合し、画面と数字の一致を確かめてから切り替えるため、今の SFA を止めずに移行できます。さらに、Claude や ChatGPT から SFA のデータを扱えるため、案件の要約、フォローのタスク作成、議事録からの更新など、AI をお客様の営業の業務に合わせて組み込むことができます。



図 4　6 つのステップで、今の SFA を止めずに移行

■想定するお客様

SFA の利用を広げきれていない企業：利用者の増加に伴う費用の増加などから、営業以外の部署への展開を見送っている企業に、利用の実態に合わせた形をご提案します。

独自の業務を SFA に載せきれていない企業：独自の承認フローや商流、与信の申請などを SFA の中で完結できず、Excel や手作業が残っている業務をシステムに載せます。承認の経路から承認後のレコードロックまで、社内のルールに合わせて組み込めます。

複数のグループ会社で SFA を使う企業：会社や役割ごとに閲覧・編集できる範囲を分ける権限を設計し、グループ全体の営業基盤として使える形にします。

AI と自動化を営業に組み込みたい企業：自社のデータと業務に合わせて AI を実装し、長く育てられる業務基盤を構築します。

社内に開発者がいない企業：項目・画面・自動化は設定で変更でき、開発が必要な所は Anycloud が担います。運用と改善も継続してお預かりします。

■Cacco グループにおける本サービスの位置づけ（今後の成長戦略）

本サービスは、「AI セキュリティ診断サービス」に続き、グループシナジー「新規プロダクト・サービスの構築」を具体化する取り組みです。Cacco グループは今後、以下の 4 つの取り組みを通じて、グループイン時に掲げたグループシナジーの具体化を進めてまいります。

1. **セキュリティサービスとの組み合わせ：**顧客データが集まる SFA を守るため、データの置き場所・連携先・権限の設計から、「AI セキュリティ診断サービス」による継続的な診断までを、グループで一貫して提供することを目指します。
2. **顧客基盤の相互活用：**Cacco の顧客基盤への本サービスの提案と、Anycloud の顧客への Cacco プロダクトの提案を通じ、グループ全体の中長期的な売上成長を目指します。
3. **データ活用への展開：**SFA に蓄積された顧客・商談のデータを、Cacco のデータサイエンスサービスによる分析などに活用し、営業のデータ活用まで支援することを目指します。
4. **AI 活用の拡充：**Claude や ChatGPT との連携を起点に、案件の要約や次の打ち手の提案、定型業務の自動化など、AI が営業の現場を支える機能を継続的に拡充してまいります。

Anycloud は、本サービスの提供開始にあたりご相談の受付と、既存の SFA からの移行可能性の診断の受付を開始します。標準機能で足りる所、独自に開発する所、自動化できる所をお客様とともに整理し、進め方とお見積もりをご提案します。料金は、現行環境の棚卸しのうえで個別にお見積もりいたします。

■両社代表コメント

かっこ株式会社 代表取締役社長　岩井 裕之

Cacco は創業以来、データとアルゴリズムでお客様の事業を支えてきました。営業の現場では今も、システムの制約に業務を合わせ、足りない所を手作業で補う運用が少なくありません。製品に業務を合わせるのではなく、業務に合わせて SFA を持つ。AI の力でこの選択肢を現実のものにする Anycloud とともに、「AI セキュリティ診断サービス」とあわせ、グループとしてお客様の事業の成長を支えてまいります。

株式会社 Anycloud 代表取締役　村井 謙太

AI の進化によって、ソフトウェアを作り、保守するためのコストは大きく下がりました。オープンソースの土台と、AI を駆使して開発・保守する私たちのチームを組み合わせることで、企業が自分たちの業務に合わせて SFA を作り、自分たちの資産として育てていくことが、現実的な選択肢になりました。その選択肢を、一社でも多くの企業に届けてまいります。

■株式会社 Anycloud について

Anycloud が提供する AI システム受託開発サービスは、UX デザインを起点とした先進の AI 技術とアプリケーション開発力を掛け合わせ、企業の DX 推進や新規事業の立ち上げにおけるシステム構築を一気通貫で実現するソリューションです。最先端の技術力を持つエンジニアが顧客の現場に深くコミットする FDE（Forward Deployed Engineer）型を強みとし、高度なプロダクトマネジメントから洗練されたインターフェース設計、迅速な実装・運用までを内製化された組織体制で提供しています。スタートアップから大手企業に至るまで、AI を活用したコアシステムの構築や次世代アプリケーションの開発を通じ、クライアントの競争力強化と新たなビジネス価値の創出に貢献しています。

■かっこ株式会社について

Cacco が提供する不正検知サービス「O-PLUX」は、AI などのデータサイエンスを活用した独自のアルゴリズムにより、オンライン取引におけるあらゆる不正をリアルタイムに検知し、被害防止とチェック業務の自動化を実現するクラウドサービスです。EC 事業者向けには不正ログインから不正注文対策を、金融機関や会員サイト向けには口座開設からログイン、取引に至る一連の

工程において、情報漏洩・フィッシング・なりすまし等への対策として不正検知ソリューションを提供しています。また、データサイエンスサービスでは、製造業・アパレル・建設業など様々な業種において、データの活用・分析を通じ、コスト削減・業務効率化・利益向上に貢献しています。

※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内の EC サイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」（2026 年 3 月末日時点）。

※ 記載されている会社名・製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

※ 本サービスの提供開始による 2026 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

■会社概要

株式会社 Anycloud

住　　所	東京都港区元赤坂一丁目 5 番 31 号
代 表 者	代表取締役　村井 謙太
設　　立	2019 年 6 月 21 日
U R L	https://anycloud.co.jp/
事業内容	UX デザインを起点とした AI システム・アプリケーションの受託開発、AI を活用したセキュリティ診断・伴走支援、「Anycloud オウンド SFA」の開発・提供

かっこ株式会社

住　　所	東京都港区元赤坂一丁目 5 番 31 号
代 表 者	代表取締役社長　岩井 裕之
設　　立	2011 年 1 月 28 日
U R L	https://cacco.co.jp/
事業内容	SaaS 型アルゴリズム提供事業 （不正検知サービス、決済コンサルティングサービス、データサイエンスサービス）
関連サイト	不正検知メディア「不正検知 Lab フセラボ」 https://cacco.co.jp/frauddetection/media/ Data Science AlgoLab https://cacco.co.jp/datascience/media/ 採用情報 https://cacco.co.jp/recruitment/index.html

■本件に関するお問い合わせ先

かっこ株式会社 広報　担当：前田
メールアドレス：pr@cacco.co.jp
電話：03-6447-4534
携帯：050-3627-8878

■本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社 Anycloud　info@anycloud.co.jp